

平和の折り鶴

あす広島原爆忌

願いをつつなぐ

「結婚や出産、新たな希望や喜びの場面で、平和あってこそものだと感じて」。広島市で6日に開かれる「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」を前に、今年も広島市の平和記念公園にある原爆の子の像には老若男女、国籍を問わず多くの人たちが折り鶴を

四国中央の紙製品会社

手向けている。四国中央市曾根町の今村紙工は、広島市から譲り受けた鶴を再生紙にし、祝儀袋とポチ袋を製作。心を込めて折られた一羽一羽を、相手を思って贈る包みに変え、平和への願いを共有したいと願っている。



①原爆の子の像に大きげられた折り鶴を利用して今村紙工が作った祝儀袋とポチ袋②7月25日、四国中央市曾根町③平和記念公園の「原爆の子の像」に折り鶴を大きげ、平和を願う子どもたち④3日午前、広島市

祝儀・ポチ袋に再生「子ども」の思い育みたい

広島市平和推進課によると、像には年間約1千万羽、重さ約10トの折り鶴が供えられる。焼却していた折り鶴を展示するため、市は2002年度分から保管していたが、展示以外の活用方針を探って市民から意見を募

集。折り鶴に託された素材でポロシャツやTシャツを作ったり、海外で被爆の惨状を語る際に使ったりしている。14年6月末までに個人7件、団体132件に渡され、海外からも8件要請があり、今村康光専務取締役(47)が広島空港で折り鶴を使ったモニューメン

トを目にしたのがきっかけだった。「同じ紙であり、産地として自分たちも何かしたい」。インターネットで取り組みを知り、申請した。広島市からトラックいっぱい運ばれた約2トの鶴から、10トの

再生紙を作った。固形物や異物が混じらないよう、シールや束ねたひもなどを一つ一つ取り除いた。今村専務は「名前が書いてあるのを見て、これは大事に生じていると消費者に伝えていきたいと考えている。3日、平和公園内を

再生紙を作った。固形物や異物が混じらないよう、シールや束ねたひもなどを一つ一つ取り除いた。今村専務は「名前が書いてあるのを見て、これは大事に生じていると消費者に伝えていきたいと考えている。3日、平和公園内を

再生紙を作った。固形物や異物が混じらないよう、シールや束ねたひもなどを一つ一つ取り除いた。今村専務は「名前が書いてあるのを見て、これは大事に生じていると消費者に伝えていきたいと考えている。3日、平和公園内を

再生紙を作った。固形物や異物が混じらないよう、シールや束ねたひもなどを一つ一つ取り除いた。今村専務は「名前が書いてあるのを見て、これは大事に生じていると消費者に伝えていきたいと考えている。3日、平和公園内を

再生紙を作った。固形物や異物が混じらないよう、シールや束ねたひもなどを一つ一つ取り除いた。今村専務は「名前が書いてあるのを見て、これは大事に生じていると消費者に伝えていきたいと考えている。3日、平和公園内を

(中田佐知子)